

バックデータ 一覧表

材料の種類	生産業者	生産地	材質等
5号砕石	坂田砕石工業(株)	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
6号砕石	坂田砕石工業(株)	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
7号砕石	坂田砕石工業(株)	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
砕砂	坂田砕石工業(株)	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
天然砂	住若海運(株)	佐賀県	海砂
石粉	足立石灰工業(株)	岡山県新見市足立	石灰石粉
ストレートアスファルト	昭和瀝青工業(株)		ストアス60-80
ポリマー改質Ⅰ型アスファルト	昭和瀝青工業(株)		改質Ⅰ型
ポリマー改質Ⅱ型アスファルト	昭和瀝青工業(株)		改質Ⅱ型
R13-0	クリーンアスコン	八頭郡八頭町郡家	再生材
P-4000	榊丸井商会		添加剤



(1/2)
鳥建技第 351882号

骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード = 08063)

令和6年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和7年1月16日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1
2. 受付番号	241218032
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-20(5号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241218032	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和7年1月16日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

試験結果

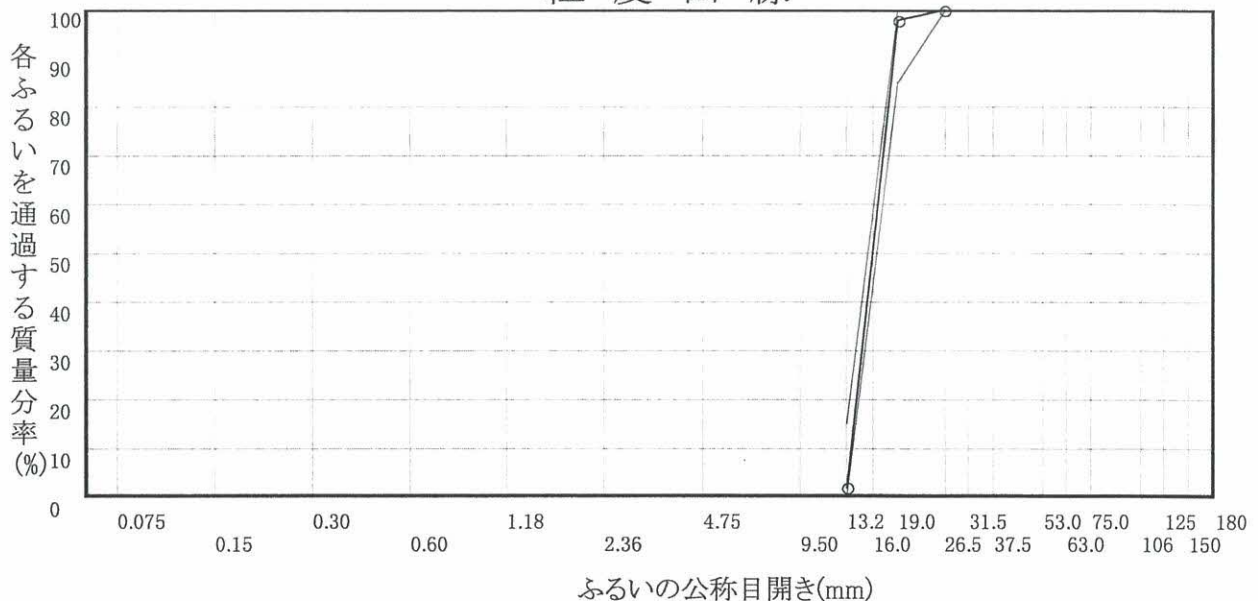
密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.694 g/cm ³
	かさ密度	2.675 g/cm ³
	見掛密度	2.726 g/cm ³
	吸水率	0.703 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.58 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	59.1 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
26.5	*	*	100.0
19.0	*	*	97.8
13.2	*	*	1.9
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



工事名 配合試験 試験年月日 令和7年1月17日
 試料名 5号砕石 試験場所 日本道路楸中四国技術センター
 採取地 坂田砕石工業㈱ 試験者 石川 高弘
 採取者 石川 高弘

ふるいの寸法		① ふるい分け 試験による 各群の質量 百分率 (%)	② 試験前の 各群の質量 (g)	③ 各群の細長 偏平石片の 質量 (g)	④ 各群の細長・ 偏平石含有量 (%) ③/②×100	⑤ 粗骨材中の 細長・偏平石 含有量 (%) ①×④/100
通る ふるい (mm)	留まる ふるい (mm)					
20	13	100.0	1004.2	10.9	1.1	1.1
合計						1.1

備考

調査名・目的 配合試験

試料名 5号砕石

試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業株

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

採取者 石川 高弘

試験年月日 令和7年1月17日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 ④/②×100 (%)	⑦各群の軟石個数百分率 ⑤/③×100 (%)	⑧粗骨材の軟石重量百分率 ①×⑥/100 (%)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)								
13	5	1.9	—	—	—	—	0.5		0.0
20	13	95.9	1050.0		9.5		0.9		0.9
25	20	2.2	—	—	—	—	0.5		0.0
合計									0.9
記事									

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考:

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試料番号 5号砕石

試験日 令和7年1月17日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試料採取場所 坂田砕石工業(株)

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	6049.4	6010.1		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	6047.1	6007.3		
③	損失重量 (g)	①-②	2.3	2.8	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.04	0.05	
⑤	平均値 (%)		0.05		
⑥	平均値からの偏差 (%)		-0.01	0.00	
判定			合格		

備考 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード= 08063)

令和6年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和7年1月16日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1
2. 受付番号	241218032
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241218032	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和7年1月16日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

試験結果

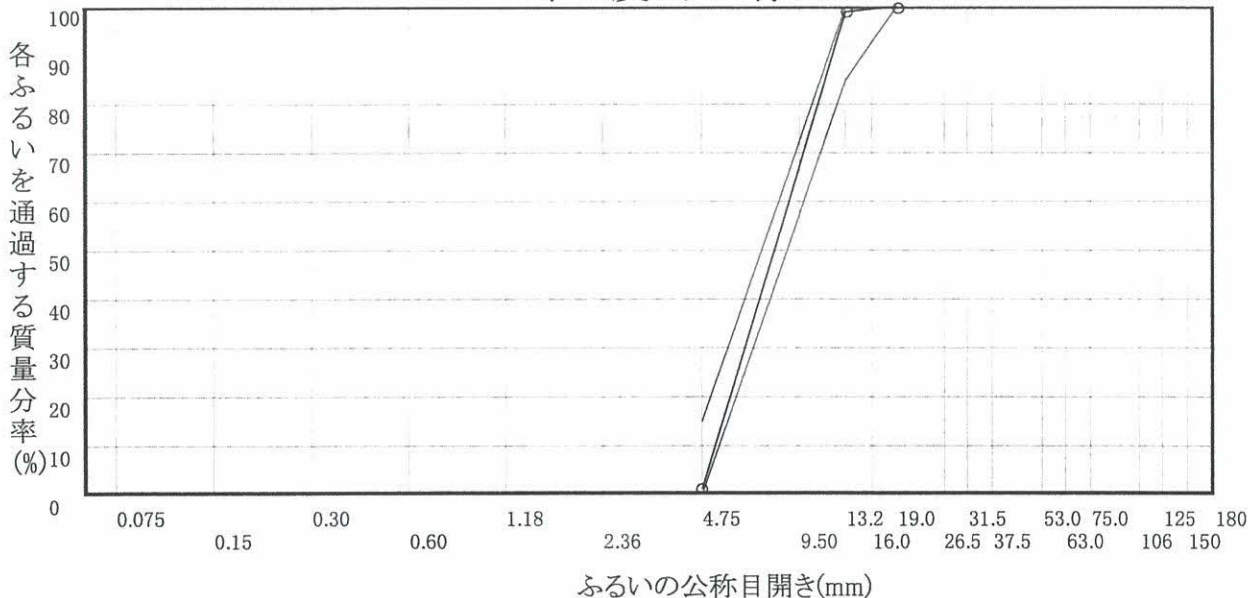
密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.684 g/cm ³	
	かさ密度	2.45 以上	2.663 g/cm ³
	見掛密度		2.721 g/cm ³
	吸水率	3.0% 以下	0.799 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.57 kg/L	
実積率 JISA1104:2006		59.0 %	
微粒分量 JISA1103:2014		* %	
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 30% 以下 (*) 11.3 %	
安定性 JISA1122:2014		* %	
有機不純物 JISA1105:2015		* %	
塩化物 JISA5002:2003		* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %	
粘土塊量 JISA1137:2014		* %	

ふるい分け試験結果


JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	99.1
4.75	*	*	1.3
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



舗装試験法便覧	粗骨材の形状試験
---------	----------

工事名	配合試験	試験年月日	令和7年1月17日
試料名	6号砕石	試験場所	日本道路楸中四国技術センター
採取地	坂田砕石工業㈱	試験者	石川 高弘 
採取者	石川 高弘		

ふるいの寸法		① ふるい分け 試験による 各群の質量 百分率 (%)	② 試験前の 各群の質量 (g)	③ 各群の細長 偏平石片の 質量 (g)	④ 各群の細長・ 偏平石含有量 (%) ③/②×100	⑤ 粗骨材中の 細長・偏平石 含有量 (%) ①×④/100
通る ふるい (mm)	留まる ふるい (mm)					
13	5	100.0	1000.9	13.8	1.4	1.4
合計						1.4

備考

調査名・目的 配合試験

試料名 6号砕石

試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業(株)

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

採取者 石川 高弘

試験年月日 令和7年1月17日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 (%) ④/②×100 (%)	⑦各群の軟石個数百分率 (%) ⑤/③×100 (%)	⑧粗骨材の軟石重量百分率 (%) ①×⑥/100 (%)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)								
5	2.5	1.3	—	—	—	—	0.6		0.0
13	5	97.8	204.6		2.4		1.2		1.2
20	13	0.9	—	—	—	—	0.6		0.0
合計									1.2
記事									

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考：

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験番号 6号砕石

試験日 令和7年1月17日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試験採取場所 坂田砕石工業(株)

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2129.9	2087.7		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2128.1	2086.3		
③	損失重量 (g)	①-②	1.8	1.4	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.08	0.07	
⑤	平均値 (%)		0.08		
⑥	平均値からの偏差 (%)		0.00	-0.01	
判定			合格		

備考 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード= 08063)

令和6年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和7年1月16日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1
2. 受付番号	241218032
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241218032	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和7年1月16日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

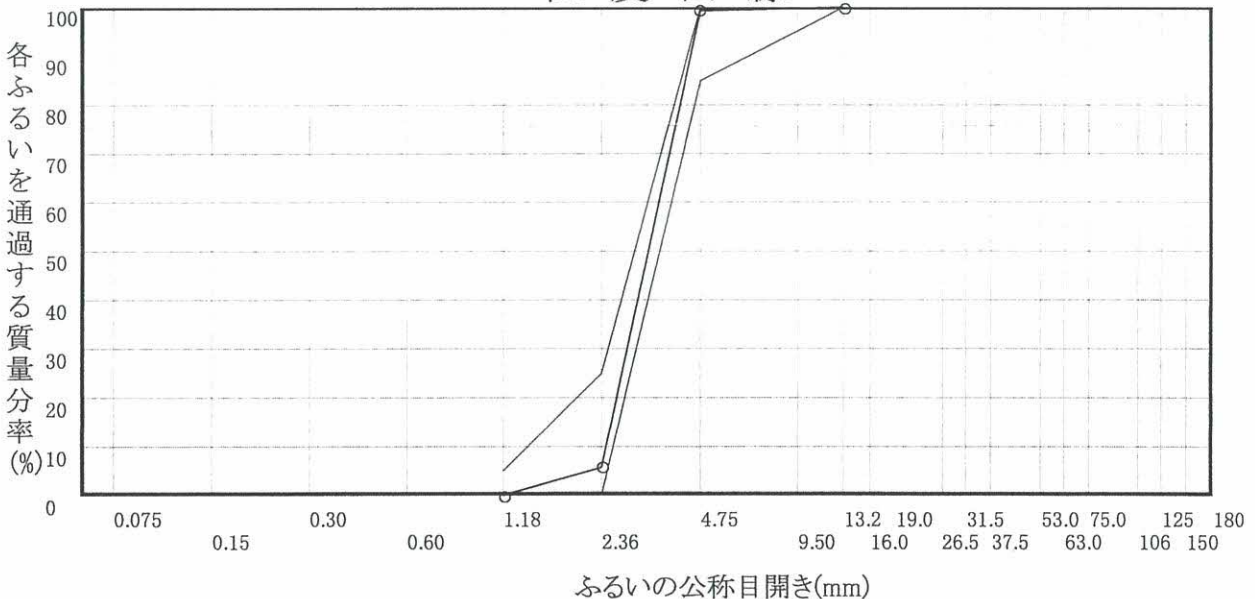
試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.671 g/cm ³
	かさ密度	2.644 g/cm ³
	見掛密度	2.718 g/cm ³
	吸水率	1.025 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.49 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	56.4 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの公称目開き(mm)	種別	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
13.2		*	*	100.0
4.75		*	*	99.4
2.36		*	*	5.9
1.18		*	*	0.0
粗粒率	*			
摘要				

粒度曲線



JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
------------	--------------------

調査名・目的	配合試験		
試料名	7号砕石	試験者	石川 高弘
採取地	坂田砕石工業㈱	試験場所	日本道路㈱中四国技術センター
採取者	石川 高弘	試験年月日	令和7年1月17日

試験溶液の種類		試験溶液の密度		繰り返し回数		溶液の温度	
硫酸ナトリウム		1.160		5		20 °C	
試料 種別	通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 重量百分率 ① (%)	試験前の 各群の重量 ② (g)	試験後の 各群の重量 ③ (g)	各群の 損失重量百分率 ④=(1-③/②)×100%	骨材の 損失重量百分率 ⑤=①×④/100%
	53	37.5					
	37.5	31.5					
	31.5	19					
	19	13.2					
	13.2	4.75	0.6	—	—	3.0	0.0
	4.75	2.36	93.5	200.0	194.0	3.0	2.8
	2.36	1.18	5.6	100.0	98.7	1.3	0.1
	1.18	0.6	0.3	—	—	1.3	0.0
	0.6	0.3					
	0.3						
合 計			100.0				2.9
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							

備考 重量百分率が5%以上の群について試験を実施する。

試験法便覧 A007

ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験

調査名・目的 配合試験

試料名 7号砕石

試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業㈱

試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

採取者 石川 高弘

試験年月日 令和7年1月17日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 (%) ④/②×100	⑦各群の軟石個数百分率 (%) ⑤/③×100	⑧粗骨材の軟石重量百分率 (%) ①×⑥/100
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)								
5	2.5	99.4	50.0		0.3		0.6		0.6
13	5	0.6	—	—	—	—	0.3		0.0
合計									0.6
記事									

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考：

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試料番号 7号砕石

試験日 令和7年1月17日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

試料採取場所 坂田砕石工業㈱

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2057.7	2059.2		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2056.9	2057.9		
③	損失重量 (g)	①-②		0.8	1.3
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100		0.04	0.06
⑤	平均値 (%)			0.05	
⑥	平均値からの偏差 (%)			-0.01	0.01
判定				合格	

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード = 08063)

令和6年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和7年1月16日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	241218032
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	砕砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241218032	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	砕砂	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和7年1月16日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

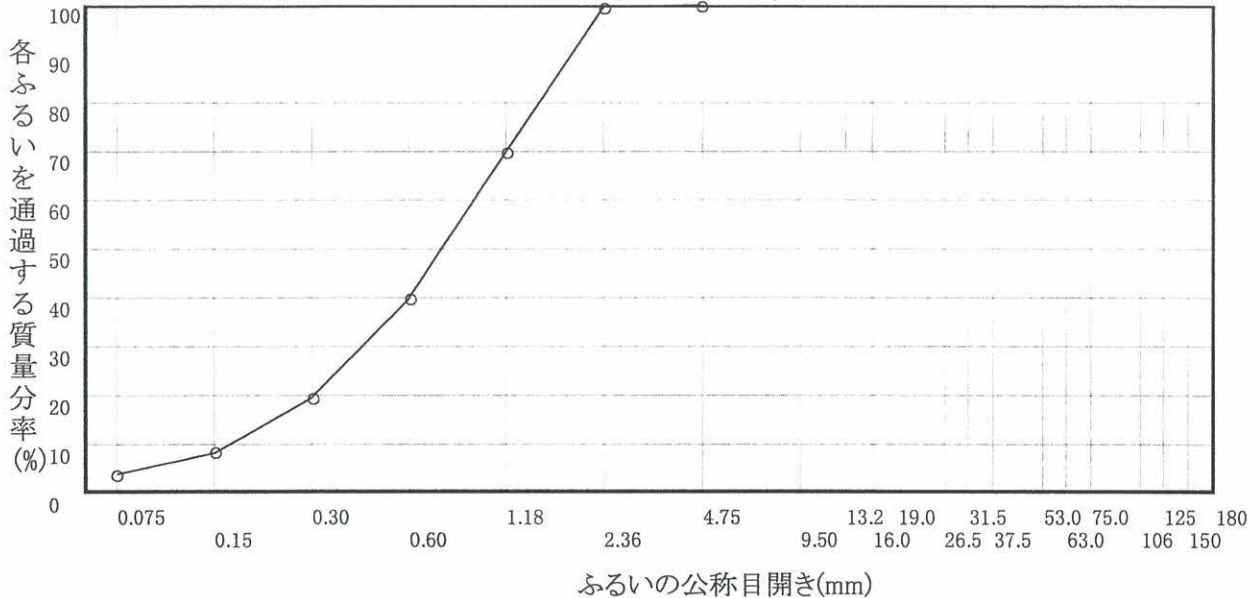
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.670 g/cm ³
	かさ密度	2.625 g/cm ³
	見掛密度	2.748 g/cm ³
	吸水率	1.690 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.74 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	66.3 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの公称目開き(mm)	種別	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
13.2		*	*	*
4.75		*	*	100.0
2.36		*	*	99.7
1.18		*	*	69.9
0.60		*	*	40.0
0.30		*	*	19.7
0.15		*	*	8.3
0.075		*	*	4.0
受皿		*	*	*
粗粒率	*			
摘要				

粒度曲線



JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
------------	--------------------

調査名・目的	配合試験		
試料名	砕砂	試験者	石川 高弘
採取地	坂田砕石工業㈱	試験場所	日本道路㈱中四国技術センター
採取者	石川 高弘	試験年月日	令和7年1月17日

試験溶液の種類		試験溶液の密度		繰り返し回数		溶液の温度	
硫酸ナトリウム		1.160		5		20 °C	
試料 種別	通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 重量百分率 ① (%)	試験前の 各群の重量 ② (g)	試験後の 各群の重量 ③ (g)	各群の 損失重量百分率 ④=(1-③/②)×100%	骨材の 損失重量百分率 ⑤=①×④/100%
	53	37.5					
	37.5	31.5					
	31.5	19					
	19	13.2					
	13.2	4.75					
	4.75	2.36	0.3	—	—	2.4	0.0
	2.36	1.18	29.8	100.0	97.6	2.4	0.7
	1.18	0.6	29.9	100.0	97.7	2.3	0.7
	0.6	0.3	20.3	100.0	97.4	2.6	0.5
	0.3		19.7	—	—	0.0	0.0
合 計			100.0				1.9
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							

備考 重量百分率が5%以上の群について試験を実施する。
0.3mmふるいを通る粒の損失質量は、0と仮定して計算する。

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験番号 砕砂

試験日 令和7年1月17日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試験採取場所 坂田砕石工業(株)

試験者 石川 高弘



記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2066.6	2083.6		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2066.3	2083.4		
③	損失重量 (g)	①-②	0.3	0.2	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.01	0.01	
⑤	平均値 (%)		0.01		
⑥	平均値からの偏差 (%)		0.00	0.00	
判定		合格			

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 680-0824
依頼者 所在地 鳥取市行徳1丁目443-1コーポ八幡504号
会社名 (株)住若 鳥取支店 様
(依頼者コード= 04579)

令和6年11月21日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和6年12月12日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 長谷 善幸



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	241121002
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	海砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	241121002	生産地・採取地	佐賀県唐津市
名称等	海砂	生産者・採取者	住若海運(株)
試験年月日	令和6年12月11日	試験責任者	大西 慶祐
備考	産地・採取地:佐賀県唐津市・鳥取港		

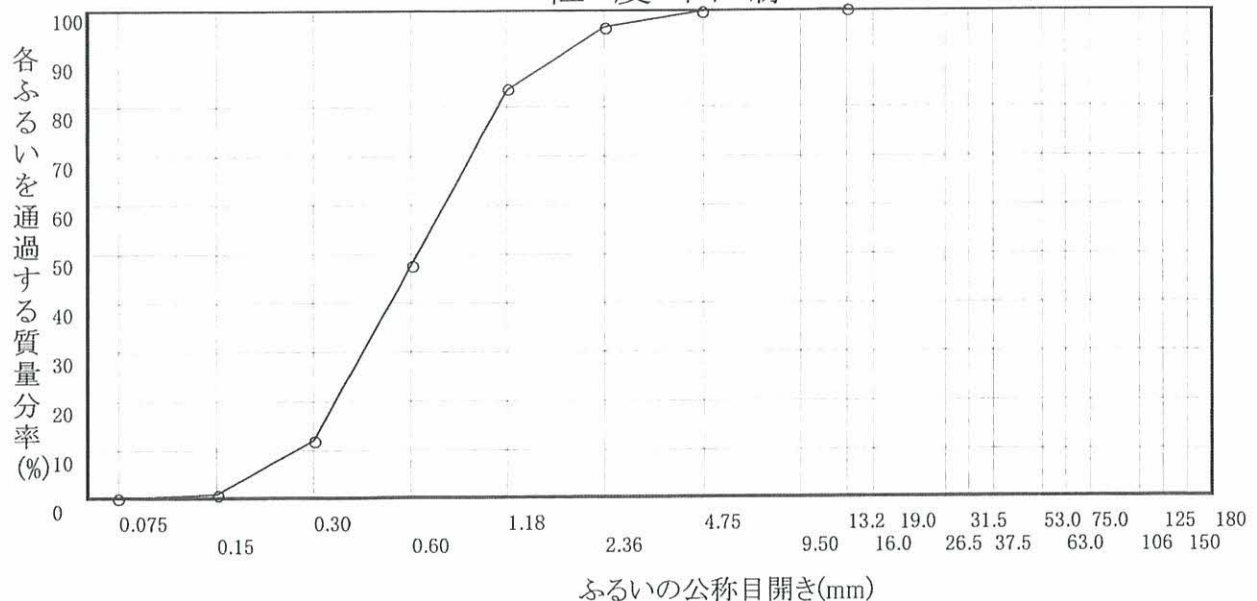
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.594 g/cm ³
	かさ密度	2.557 g/cm ³
	見掛密度	2.654 g/cm ³
	吸水率	1.420 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.62 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	63.4 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	99.7
2.36	*	*	96.4
1.18	*	*	83.7
0.60	*	*	47.8
0.30	*	*	12.2
0.15	*	*	1.1
0.075	*	*	0.3
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
------------	--------------------

調査名・目的	配合試験		
試料名	海砂	試験者	石川 高弘
採取地	住若海運(株)	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
採取者	石川 高弘	試験年月日	令和7年1月17日

試験溶液の種類		試験溶液の密度		繰り返し回数		溶液の温度	
硫酸ナトリウム		1.160		5		20 °C	
試料 種別	通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 重量百分率 ① (%)	試験前の 各群の重量 ② (g)	試験後の 各群の重量 ③ (g)	各群の 損失重量百分率 ④=(1-③/②)×100%	骨材の 損失重量百分率 ⑤=①×④/100%
	53	37.5					
	37.5	31.5					
	31.5	19					
	19	13.2					
	13.2	4.75					
	4.75	2.36	3.3	200.0	195.6	2.0	0.1
	2.36	1.18	12.7	100.0	98.0	2.0	0.3
	1.18	0.6	35.9	100.0	97.6	2.4	0.9
	0.6	0.3	35.6	100.0	97.7	2.3	0.8
	0.3		12.2	—	—	0	0.0
合 計			100.0				2.1
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							
20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)				破壊状況			
試験後異常が認められた 個数 (個)							

備考 重量百分率が5%以上の群について試験を実施する。
0.3mmふるいを通る粒の損失質量は、0と仮定して計算する。

試料番号 海砂

試験日 令和7年1月17日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試料採取場所 住若海運(株)

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2085.8	2054.0		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2085.7	2053.8		
③	損失重量 (g)	①-②	0.1	0.2	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.00	0.01	
⑤	平均値 (%)		0.01		
⑥	平均値からの偏差 (%)		-0.01	0.00	
判定		合格			

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

備考 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。

受付番号: SP-240400396-1
発行番号: SP-2402098-1-A-1/1
2025年1月6日 発行

試験報告書

足立石灰工業株式会社

殿

試料の区分: 石灰等
試料の名称: 炭カル(舗装用フィラー) 令和7年1月分
試料採取日: 2024/12/18
試料採取者: 持込試料
試料採取場所: 足立石灰工業
依頼年月日: 2024/12/20

事業者 公益財団法人岡山県環境保全事業団
事業所 公益財団法人岡山県環境保全事業団環境調査分析部
〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1
TEL: 086-298-2616 FAX: 086-298-2617
登録番号 岡山県知事登録 第6-1号, 第7-1号
及び第8-1号



試験管理者 環境計量士 藤原 由紀



上記試料について試験の結果を下記のとおり報告します。

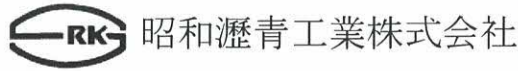
試験の項目	試験の単位	試験の結果	試験の方法
密度	-	2.72	比重瓶法
水分含有率	%	0.02	JIS A5008 3.3.1
熱耐久性	-	変化なし	目視 (200°C, 1時間加熱による変化)
粒度 (通過率 600 μm)	%	100	JIS A5008 3.3.2
粒度 (通過率 300 μm)	%	100	JIS Z8815 6
粒度 (通過率 150 μm)	%	98.1	JIS A5008 3.3.2
粒度 (通過率 75 μm)	%	88.3	JIS A5008 3.3.2
以下余白			

備考

結果については、現物あたり。

- 注記
- 当団の許可なく、本報告書記載事項の一部のみ複製（変更）することを禁じます。
 - 試料採取者が公益財団法人岡山県環境保全事業団職員でない場合は、試料採取について当団は一切関わっておりません。
 - 試験の結果が「・・・未満」又は「く」とある場合は、それぞれ定量下限値未満又は検出下限値未満であることを示します。

御中

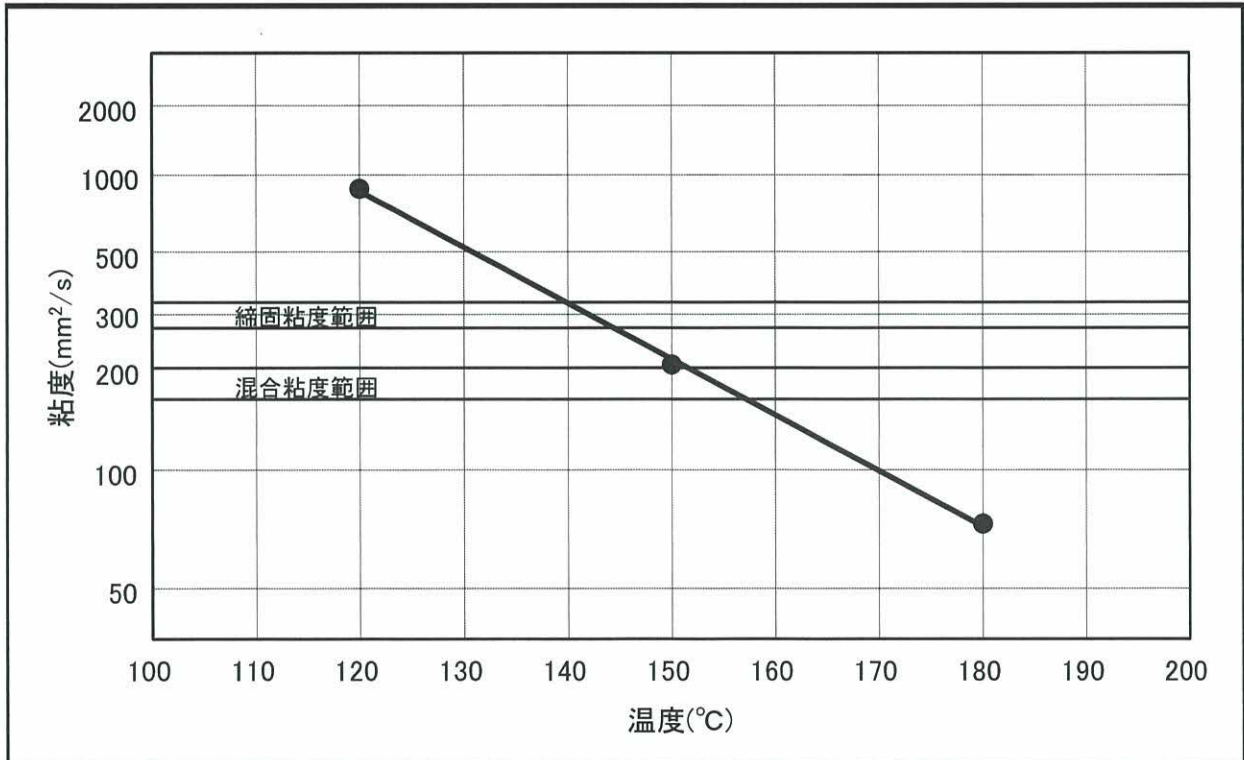


アスファルト試験成績表

品名: ストレートアスファルト60~80

(令和7年1月代表性状)

試験項目	試験結果	規格値 (J I S)
針入度 (25°C) 1/10mm	70	60を超え80以下
軟化点 °C	46.0	44.0~52.0
伸度 (15°C) cm	100+	100以上
トルエン可溶分 %	99.77	99.0以上
引火点 °C	366	260以上
薄膜加熱質量変化率 %	0.06	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	62.9	55以上
蒸発後の針入度比 %	87	110以下
密度 (15°C) g/cm ³	1.038	1.000以上
動粘度 mm ² /s	120°C	879
	150°C	205
	180°C	72
混合温度 °C	152~157	
締固温度 °C	140~144	



※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和7年1月代表性状)

品名 ラバーフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	60.0	50.0以上
伸度 (7°C) cm	〃	32	30以上
タフネス (25°C) N・m	〃	28.1	5.0以上
テナシティ (25°C) N・m	〃	23.7	2.5以上
針入度 (25°C) 1/10mm	〃	58	40以上
薄膜加熱質量変化率 %	〃	0.04	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	70.7	65以上
引火点 °C	〃	350	260以上
密度 (15°C) g/cm ³	〃	1.029	報告
最適混合温度 ※3 °C		160~175	
最適締固め温度※3 °C		150~160	
(備考)			
※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕			
※2 (社) 日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版 ポリマー改質アスファルト I型			
※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。 作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については 現場施工条件に応じて設定して下さい。			

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和7年1月代表性状)

品名 レジフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	66.5	56.0以上
伸度 (15°C) cm	〃	84	30以上
タフネス (25°C) N・m	〃	21.1	8.0以上
テナシティ (25°C) N・m	〃	16.8	4.0以上
針入度 (25°C) 1/10mm	〃	60	40以上
薄膜加熱質量変化率 mass %	〃	0.08	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	68.3	65以上
引火点 °C	〃	358	260以上
密度 (15°C) g/cm ³	〃	1.032	報告
最適混合温度 ※3 °C		165~180	
最適締固め温度※3 °C		155~165	

(備考)

- ※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕
- ※2 (社)日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版
ポリマー改質アスファルト II型
- ※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。
作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については
現場施工条件に応じて設定して下さい。

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

再生骨材試験結果一覧表

製造所 クリーンアスコン 報告年月日 令和 7 年 1 月 10 日

種類 再生骨材(13~0) 試験者氏名 石川 高弘 

	試験項目	平均値	再生骨材規格
粒度試験結果 (%)	19.0 (mm)	100.0	—
	13.2	100.0	—
	4.75	73.8	—
	2.36	53.7	—
	0.60	33.9	—
	0.30	24.0	—
	0.15	12.9	—
	0.075	7.4	—
	旧アスファルト含有量 (%)	5.20	3.8以上
	旧アスファルト針入度(1/10mm)	25.0	20.0以上
洗試験損失量 (%)	1.66	5.0以下	
最大比重 (g/m ³)	2.476	—	
骨材比重 (g/m ³)		—	
備考			

品質試験結果総括表

令和 7 年 1 月分

試料名 : アスファルトコンクリート再生骨材

製造工場 : クリーンアスコン

試験項目		測定値	規格値
再生骨材試料名		13~0	—
旧アスファルト含有量 (%)		5.20	3.8以上
旧アスファルトの針入度 (25°C)1/10mm		25	20以上
洗い試験で失われる量 (%)		1.66	5以下
最大密度		2.476	—
抽出後 粒度 (%)	19.0mm	100	—
	13.2	100	
	4.75	73.8	
	2.36	53.7	
	0.600	33.9	
	0.300	24.0	
	0.150	12.9	
	0.075	7.4	

※ 再生骨材の品質規格は、13~0の場合の規格値である。

アスファルト混合物のアスファルト含有量試験

報告用紙

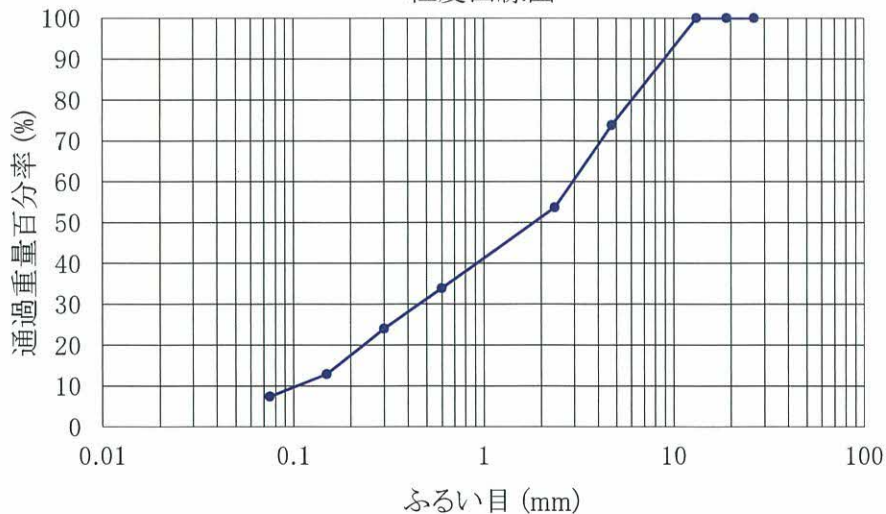
工事名 クリーンアスコン 再生骨材
 試料名 再生骨材13~0
 採取場所 クリーンアスコン
 採取年月日

試験年月日 令和7年1月10日
 抽出方法 遠心抽出法
 溶剤の種類 ディップソール
 試験場所 日本道路(株)中四国技術センター
 試験者 石川 高弘

				1	2	平均
A	試料質量	(g)		1019.1	1033.6	
B	抽出骨材質量	(g)		960.9	976.6	
C	(ろ紙+ファイバー)質量	(g)		9.3	9.0	
D	ろ紙質量	(g)		4.9	4.9	
E	付着ファイバー質量	(g)	C-D	4.4	4.1	
F	全抽出骨材質量	(g)	B+E	965.3	980.7	
G	アスファルト質量	(g)	A-F	53.8	52.9	
H	アスファルト含有量	(%)	$G/A \times 100$	5.28	5.12	5.20
	設計アスファルト量	(%)				

ふるい目 (mm)	1			2			平均
	加積残留 (g)	加積残留 (%)	通過重量 (%)	加積残留 (g)	加積残留 (%)	通過重量 (%)	通過重量百分率 (%)
26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
4.75	252.0	26.1	73.9	257.8	26.3	73.7	73.8
2.36	444.4	46.0	54.0	456.6	46.6	53.4	53.7
0.600	638.1	66.1	33.9	648.2	66.1	33.9	33.9
0.300	741.9	76.9	23.1	736.9	75.1	24.9	24.0
0.150	837.2	86.7	13.3	857.8	87.5	12.5	12.9
0.075	897.2	92.9	7.1	904.7	92.3	7.7	7.4
	965.3			980.7			

粒度曲線図



JIS K 2207	アスファルトの針入度試験	報告証紙
------------	--------------	------

工事名 クリーンアスコン 再生骨材 試験年月日 令和7年1月10日
 試料名 旧アスファルト
 項目 再生骨材 定期管理試験 試験場所 日本道路(株)中四国技術センター
 試料採取場所 クリーンアスコン 試験者 石川 高弘

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号	旧アスファルト	
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)	25	26	24	25

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号	旧アスファルト	
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

舗装調査・試験法便覧	アスファルト混合物の最大密度試験			報告用紙
調査・工事名	クリーンアスコン 再生骨材	試験年月日	令和7年1月10日	
目的	再生骨材定期管理試験	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター	
混合物の種類	再生骨材13~0	試験者	石川 高弘 	
試料採取場所	クリーンアスコン			
容器番号・試料番号	1	2	3	
① 試料+容器重量 (g)	2811.7	2814.3	2977.5	
② 容器重量 (g)	782.1	763.5	818.9	
③ 試料重量 (g) ①-②	2029.6	2050.8	2158.6	
④ 25℃水+試料+容器重量 (g)	4469.9	4419.7	4602.3	
⑤ 25℃水+容器重量 (g)	3260.3	3198.8	3313.4	
⑥ 試料の表乾重量 (g)	-	-	-	
最大密度 ③/((③+⑤)-④)	2.475	2.471	2.482	
平均最大密度	2.476			
<p>備考 容器のタイプはB(2,000ccガラス製密度測定用フラスコ)</p> <p>注) 混合物がアスファルトで完全に被膜されていない多孔質な骨材を含む場合 ⑥の値を、比重の計算式の分母③に置き換えて計算する</p>				

MARUI SHOKAI

令和7年 1月 15日

御中

大阪市西区九条南四丁目2番11号
製造・販売元 株式会社 丸井商会



品名 再生アスファルト用添加剤 P-4000

<u>試験項目</u>	<u>性状値</u>	<u>道路協会標準</u>
密度 @15°C g/cm ³	0.891	報告
引火点 (COC)	288	250以上
動粘度 mm ² /S(cst) @60°C	81.40	80~1,000
(代表値)		
薄膜加熱後の粘度比 (60°C)	1.22	2 以下
薄膜加熱質量変化率 (60°C)	-0.23	± 3%
組成分析 (環分析%)		
アスファルテン	0.0	
Ca (%) アロマ	6.4	
Cn (%) ナフテン	24.7	
Cp (%) パラフィン	68.9	

以上

(備考)

上記の試験成績表は、生産実績等に基づき作成した当月の代表性状です、
納入製品の実測値ではありません。